

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 8 月 14 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2026 年 7 月 30 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	マレーシア
留学先大学	マレーシア科学大学(日本語名) Universiti Sains Malaysia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	マレー語、中国語、英語/英語
留学期間	2026 年 3 月～2026 年 7 月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～2 月上旬 2 学期: 3 月上旬～7 月下旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	約 25000 人
創立年	1969 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (リンギット) (1 現地通貨 = 40 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	大学間協定留学のため、明治大学の授業料のみ支払いました。
宿舍費	5600	0 円	コンドミニアム月額 850×6 か月分、 光熱費月額約 100×5 か月分
食費	1500	0 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	12	0 円	教科書を 1 冊のみ購入
携帯・インターネット費		円	
現地交通費	500	円	友人との遊びやスーパーなどには grab を 利用していました。(☑大学まで徒歩・自 転車)
教養娯楽費	100	円	卒業パーティー参加費
旅費(留学中)	3500	200000 円	
被服費		円	
医療費	360	100000 円	渡航前のワクチンと現地での健康診断
保険費	265	56350 円	形態: 海外旅行保険(5 ヶ月分)+ 現地 大学で入る必要のある保険
渡航旅費		147406 円	往復 JAL を利用しました
ビザ申請費	810	円	
雑費	300	円	
その他	450	円	USMfee
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	13397 (=522,034 円)	503,756 円	
総計(A+B) ※円		1,025,790 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田国際空港 目的地：ペナン国際空港 経由地：クアラルンプール国際空港

復路 出発地：ペナン国際空港 目的地：クアラルンプール国際空港 経由地：成田国際空港

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：JAL 料金：77710

復路 航空会社：JAL 料金：69696 ∴合計：147406

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：JAL)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☐ 学生寮(寮の名前：) ☒ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

エージェントに直接連絡をとった

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

家を見つけるまでに 1 か月ほどかかりました。いろいろな留学生に連絡を取りながら情報を集めていたからです。トラブルとしては、私の部屋がとても汚く、それにオーナーも対処してくれなかったことです。個人の部屋にはエアコンがなく大きなファンを使っていたのですが、入居前に掃除がきちんとされていなかったのかベットの横たわると目にファンから落ちてきたほこりが入ってくるため目が開けられない状態でした。また、マットレスがとても汚く少し蕁麻疹の症状も出ました。これを経て半年生活するのは困難と判断し、エージェントの連絡先を留学生からもらい連絡を取り、またルームメイト探しも並行して行い、到着後 1 週間後に ArteS という別のコンドミニウムに引っ越しを行いました。ArteS にはジムもプールも展望デッキもあり、セキュリティもしっかりしていて、部屋もとてもきれいで安心して生活ができました。また、周辺にはたくさんレストランもありとても住みやすかったです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

たびレジの登録をしていました。客引きにはついて行かない、チャック付きのズボンやかばんを着用するなど、盗難対策はしっかりおこなっていました。ペナン島は比較的安全なので、夜道を歩いていて犯罪に巻き込まれた事例は聞いたことがありませんでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

私の住んでいた部屋には Wi-Fi が完備されていましたが、一部コンドミニアムには Wi-Fi がないところもあるので要注意です。

5) 現地で資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

wise カードを出国前に作っており、毎月日本にいる親から送金してもらっていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

延長コード、自分に合った安心できる薬類、スーツ(就活用)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
17 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☒ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☒ その他(対面) ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Management	マネジメント入門
科目設置学部・研究科	School of Management
履修期間	1 学期間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回
担当教授	Dr. Ainul Mohsein binti Abdul Mohsin Dr. Jamshed Khalid
授業内容	マネジメント入門
試験・課題等	コースワーク 40%、期末試験 60%
感想を自由記入	授業スライドが細かく作り込まれており、理解しやすかったのも、また、テストは計 3 回ありましたがすべて選択問題だったので他の科目に比べて取り組みやすかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Data Analytics		統計学入門
科目設置学部・研究科	School of Management	
履修期間	1 学期間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回	
担当教授	Dr, Aldowah Hanan Ahmad Yahya	
授業内容	統計学入門	
試験・課題等	コースワーク 50%、期末試験 50%	
感想を自由記入	半分以上の授業がオンラインに変わってしまったため、対面の授業がほぼなくなってしまったことが残念だった。2 回のグループでのレポート課題があったが、1 人 1 人の負担は少なかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Malaysian Studies		マレーシアについて
科目設置学部・研究科	School of Social Sciences	
履修期間	1 学期間	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 170 分が 1 回	
担当教授	Dr, Sharifah Zahhura Syed Abdullah	
授業内容	マレーシアの歴史、文化について学ぶ	
試験・課題等	コースワーク 100%(Essay40%、Presentation20%、Assignment40%)	
感想を自由記入	グループでのレポートや発表などを行うことが多かったため、大講義だが友人が多く作れる授業でとてもよかった。ほとんどの留学生はこの授業をとっていたと思う。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Economic Transformation in Southeast Asia		東南アジアの経済発展
科目設置学部・研究科	School of Social Sciences	
履修期間	1 学期間	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 170 分が 1 回	
担当教授	Assoc. Prof. Dr. Chua Soo Yean Dr. Law Chee Hong	
授業内容	東南アジアの色々な国を比較しながら経済発展についての講義を 3 時間通して聞くというもの	
試験・課題等	コースワーク 100%(Essay30%、Test30%、Project Paper40%)	
感想を自由記入	この授業は私が受けた 5 つの授業の中で最も難易度の高いものだったが、教授の説明が面白く一番好きだった。しかし予習と復習は必須だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Chinese Language I		中国語 1
科目設置学部・研究科	School of Language	
履修期間	1 学期間	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授	Gan Pek Har	
授業内容	中国語基礎(自己紹介など)	
試験・課題等	コースワーク 60%、期末試験 40%	
感想を自由記入	中国語を英語で学ぶという経験はなかなかできなかったのですごく楽しかったし一番身についた授業でした。この授業には留学生は二人しかいなく他はマレー人の生徒しかいなかったのも現地の友達を作るという点でもすごくよかった授業でした。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	西シドニー大学に短期留学
	4 月 ～ 7 月	IELTS 受験、出願
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	ビザ申請など
留学開始年	1 月 ～ 3 月	ワクチン接種、留学開始
	4 月 ～ 7 月	中間試験、期末試験、帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

1. マレーシア・マレーシア科学大学(USM)を選んだ理由

多様な民族(マレー系・中華系・インド系など)や文化が共存する環境で、英語を実践的に学びながら多角的な視点を養いたいと考えたためです。また、マレーシアは物価が安く治安も安定しており、東南アジアの経済成長や地域研究(Malaysian Studies や Economic Transformation in Southeast Asia など)を現地の視点で学べる点にも魅力を感じました。ペナン島に位置する USM は自然豊かで学習・生活環境が整っており、日本人が多すぎない環境で留学生活に集中できる点も決め手となりました。

2. 授業や学習面についてのアドバイス

マレーシアの英語は第二言語として使われているため聞き取りやすく、発言しやすい雰囲気がありますが、独特のアクセントに慣れるまでは事前の講義資料の予習が欠かせません。レクチャーだけでなく「チュートリアル」と呼ばれるグループワーク(ディスカッション・発表・レポート作成)が多く組み込まれているため、現地学生や他の留学生と積極的にコミュニケーションをとることが大切です。また、履修登録の際はオンラインで完結せず直接教授のサインをもらう必要があったり、人気授業の定員がすぐ埋まったりするため、早めの行動と積極的な相談をお勧めします。

3. 生活全般・事前準備についてのアドバイス

住居の確保:

寮かコンドミニアムかの選択肢がありますが、設備(水シャワーや個室の有無、クーラーなど)の快適さや衛生面を重視するならコンドミニアム(Arte S など)が安心です。入居時に部屋のトラブルや清潔さに問題がある場合は、我慢せずエージェントや他の留学生に相談して引っ越しを検討する度胸も大切です。

お金と手続き: WISE デビットカードを出国前に用意しておく、現地の ATM で手数料安く現地通貨を引き出せて大変便利です。ビザ(eVISA)申請は提出書類の不備等で時間がかかる場合があるため、最低でも1か月以上前から余裕を持って準備することをおすすめします。

人間関係と休日: 到着後すぐに行われるオリエンテーションウィーク(Buddy プログラムやイベント)には絶対参加することをおすすめします。ここで出会った友人とはその後の留学生活を共に楽しむ一生の仲間になります。休日にはタイなど近隣国への旅行も安価で行けるため、メリハリをつけて充実した留学生活を送ってください。